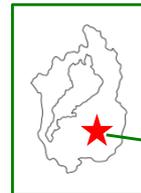


背景・課題

滋賀県では、化学肥料・化学合成農薬使用を従来の半分以下にした「環境こだわり農業」の推進に取り組んでおり、その中でオーガニック農業を「環境こだわり農業」の柱の一つに位置づけ本格的な拡大を目指している。

このような中、日野町では、雑草防除などオーガニック米栽培における省力化体系が確立していないことから、取組が少ない状況であった。

そこで、スマート農業機械をはじめとする省力化に資する技術を導入し、日野町におけるオーガニック米栽培体系の確立を目指している。



日野町

構成員

農業者 5名、グリーン近江農業協同組合、滋賀県東近江農業普及指導センター

品目

水稻

目指すグリーンな栽培体系

日野町地域における水稻オーガニック栽培の省力化体系を確立し、取組面積を拡大する。

取組の内容

日野町ではオーガニック栽培体系を確立するため、以下の技術実証に取り組んだ。

- ①乗用型水田除草機や抑草ロボットなどの省力機械を使用し、雑草防除技術を実証し地域に適する省力機械を選定する。
- ②害虫の発生抑制や畦畔法面の大きい山間地での畦畔管理作業の削減のため、防草シートを選定する。
- ③雑草抑草の深水管理を作業時間削減のため、自動給水栓による水管理の自動化を実証する。
- ④地帯や土壌条件の異なるほ場において、本県育成品種「きらみずき」に適應したオーガニック栽培の施肥体系を実証する。

生産



①雑草防除方法の選定と確立



乗用型除草機



抑草ロボット

②防草シートによる畦畔除草の省力化



③自動給水装置による水管理の自動化



④施肥体系の確立

地帯や土質の異なる条件で肥料試験を実施する。



日野町

普及に向けた取組

交付金事業の実施により水稻でのオーガニック栽培技術体系を活用し、日野町およびJAグリーン近江管内でのオーガニック栽培取組面積の拡大を目指す。

問い合わせ先

グリーン近江農業協同組合（研究会事務局） TEL：0748-33-8453  
滋賀県東近江農業農村振興事務所 TEL：0748-22-7728